

めぐみの糧

「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。」
(マタイ4章4節)

取税人 ザアカイの喜び

湯浅 修

「イエスは、彼(ザアカイ)に言われた。『きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのですから。人の子(キリスト)は、失われた人を捜して、救うために来たのです。』」

1. ザアカイは、ありのまま受け入れられた。

「もし私たちが人々を、ありのまま受容するならば、彼らはさらに悪くなる。しかし、もし私たちが彼らを、あるべき最高のものであるかのように受容すれば、彼らがなりうるものになるのを、私たちは援助できる」
ナチス政権下、強制収容所に入れられ、その体験を綴った「夜と霧」の著者、ビクター・フランクルのことばです。

ここに登場してくるザアカイは、取税人の頭であり、大金持ちです。彼ら取税人は当時のユダヤでは、占領国ローマ帝国の手先、ユダヤの売国奴として、民衆から忌み嫌われていた存在でした。ある日、ザアカイは、キリストがすぐ近くに來られたというニュースを聞き、急いで会いに走るのですが、背が低かったため、いちじくの木に登り、ようやくキリストを眼下に見ることができたのです。ちょうどその木の下を通りかかったキリストは、ザアカイに、こう声を掛けられたのでした。

「ザアカイ。急いで降りて来なさい。今日は、あなたの家に泊まることにしてあるから。」と。
キリストは、嫌われ者ザアカイが人知れず抱えていた、苦しみ、悲しみを受け入れ、救し、救おうとされたのです。今日(こんにち)、イエス・キリストは、あなたのすべてを受容し、あなたを最高の姿(キリストを信じる)に変えてくださいます。

「父がわたしにお与えになる者はみな、わたしのところに來ます。そしてわたしのところに来る者を、わたしは決して捨てません。」
(ヨハネ6章37節)

2. ザアカイは、平安を心に迎え入れた。

「ザアカイは、急いで降りて来て、そして大喜びでイエスを迎えた。」

ある宣教師が、その土地の言葉に、聖書を翻訳することになりましたが、どうしてもある言葉が見つかりませんでした。その言葉とは、・・・「平安」

困難が数週間続いた後、母国語を良く知った住民が、急いで駆け込んで来て、言いました。「わかりました!。イエス様が、信じる人たちの心にどんな働きをなさるかということ、を、知らせる方法がわかりました!。」

「『平安』という言葉を見つけたのかね?」「いえ、旦那様。そういう言葉はありません。しかし、こう言えばわかると思います。」「イエス様は、あなたの心を座らせる。」

「わたし(キリスト)は、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。」
(ヨハネ14章27節)

「お金による平安」で辛うじて、自分自身を支えていた、ザアカイに質問して見ましょう。「あなたは、あといくらあれば、幸せですか?」彼はきつと、こう答えたことでしょう。

「あと、もう少しあったら・・・」

「お金」は、ザアカイの心を「座らせる」ことはできませんでした。

しかし、今や、ザアカイは、イエス・キリストを、「家」の中だけではなく、「心」の中に迎え入れたのです。それでは次に、ザアカイの身に起こった変化(二点)を考えてみましょう。

3. ザアカイは、与える人になった。

「主よ。ご覧ください。私の財産の半分を貧しい人たちに施します。」

「神」に心を開いたザアカイは、その後、「人」に心を開く人に変えられました。彼の目は、「内」から「外」に向って開かれ、彼の手は、「受ける」ことから、「与える」ことへと開かれていきました。

「人の生涯は、”どれだけ得た”ということでは測られるのではなく、”どれだけ与えた”ということでは測られる」

「金は、幸福以外のものは何でも与えることができる万能の供給者であり、また、天国以外、どこへでも行けるパスポートである」
(作者不詳)

4. ザアカイは、正直(者)になった。

「だからからでも、私がだまし取った物は、四倍にして返します。」

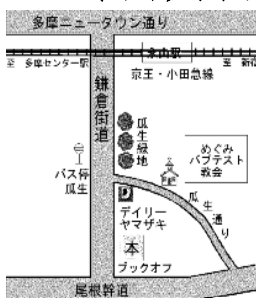
イエス・キリストを心に迎え入れ、新しく生まれ変わったザアカイは、不正者から正直者になりました。旧約聖書の教えでは、「・・・それについて偽って誓った物全部を返さなければならぬ。元の物を償い、またこれに五分の一を加えなければならぬ。」とありますが、ザアカイは、それを何と、4倍にして償うと言ったのでした。

ある男性の実話です。

この男性は、教会に行くのをいやがっていました。その最大の妨げとは、賄賂を受けていたことでした。自分が、信仰を持つたとしたら、一切を告白しなければならぬ。そんなことをしたら、刑務所行き。そうでなくとも、首。そうならたら、自分の家庭は、また、その会社は・・・それが、理由でした。(裏面へ続く)

めぐみバプテスト教会

東京都多摩市永山6-2-5永井ビル2F



Tel 042-374-2311

FAX 042-374-2311

木曜日 夜 7:00~8:30 祈り会
日曜日 朝 9:30~10:25 日曜学校
10:45~12:15 礼拝

牧師: 湯浅 修(ゆあさおさむ)

メール: qrdgp763@ybb.ne.jp

携帯TEL: 080-5053-9206 (湯浅)

ホームページ:「めぐみバプテスト教会」
と御検索ください

クリストを信じた彼は、その後、牧師に相談をしたのです。牧師は、言います。

「告白しなさい。ただ、自分のことだけで、他人のことは一切口にしたらならんよ。」

「はい。わかりました。」

なかなか決断がつかなかったそうですが、ついに副社長に告白することになりました。足が重く、部屋の前を言ったり来たりしたそうです。しかし、ついに目を閉じて、部屋の中に飛び込みました。

「私は、本当に恐ろしい罪を犯しました。」

「いや、あなたばかりでない。」

「あなたの課の者はみなやっているんですね。」

「しかし、私は賄賂をもらっておりました。」

「よし良かった。この処置については、いずれあとで……」

その日の仕事が終わってから、彼は、副社長に呼ばれました。

「君の方から申し出があったのだから、君を首にするのは気の毒だ。君の真面目な態度には感心した。そこで、君が今まで使ったもののうち、会社のは、弁償しなさい。」

「具体的には、どのようにしたら良いでしょうか？」

「君の一年間の給料の中から弁済しなさい。」

その位のことでは、あろうと思つて、彼の奥さんも覚悟していたようです。

「いいですよ。あなたが弁済のために、たとえ、一年の間給料が入らなくても、洋裁をしてでも、生活していくことができますから。」

それを聞いて、これで首にならずに済んだ。よし、この一年間はただ働きた。と非常に喜んで、奥さんと感謝したそうです。それから、無給で働きました。

そして、6月末、ボーナス時、皆が貰った後で、彼は副社長に呼び出されました。

「何だろう？」

副社長が、そばにいた秘書に、それを渡せと言っているのです。秘書から手渡されたものを見ると、半年分の給料が入っていました。

彼は非常に驚いて、
「これは何かの間違いでしょう。私にはこれにいた資格がありません。お約束しましたように、この一年間は、無報酬のはずですが……」

「黙つて、受け取りなさい。」
と言われ、もう一つの袋が手渡されました。よくよく見ると、何とボーナスです！

「これを持っていきなさい。」
「私のような者がボーナスをもらえるはずがありません！」

「あけるといふんだから、黙つて持ていきなさい。」
中をよく見ますと、いつものボーナスの3倍入っていました。彼はあまりのことに、涙を流し、それから、副社長は言いました。

「君もクリスチャンなら、この会社の中で、若い人を指導するために、バイブルクラスを聞いてもいいですよ。」
彼は、大喜びし、年が明けると、昇進し、仕入れ一切の責任を、委ねられるようになりました。

「君もぼつぼつ定年だろう。まだ、あの会社に勤めていのかね？」
という牧師の手紙に、奥さんから、次のような返事が返ってきました。

「先生、定年になりましたら、主人は教会のために何でもしようと思つていたのですが、会社がどうしても許してくれないんです。それだけでなく、青年たちの指導が委ねられています。わたしも、主人には、あかしのためだからと言っています」

人は、心の内に、救い主イエス・キリストを迎え入れる時、ザアカイ、また、この男性のように、新しく生まれ変わります。そして新たな人生をスタートできるのです。あなたも、罪をキリストの血潮により赦され、神と人、正義を愛する、清い生き方に倣わねばいかうでしょうか？

「もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」(第1ヨハネ一章九節)

(「めぐみの糧」バックナンバーNo.1～7は、ホームページ上で読みいただくことができます)

パステルアート教室のご案内

絵を描くということは、セルフヒーリングにつながります。
色を楽しむということも、心を開放したり、内面を見つめるのに役立ちます。
パステルは穏やかで温かい“光”を表現するのにとてもすぐれた素材です。
色と色がまざることで、そこから思わぬハーモニー(調和)がうまれます。
やさしくて心地よく、そして透明感のある“世界でたったひとつのあなたの作品”
を描いていきましょう！

毎回、1枚の絵を仕上げます。(初心者大歓迎！)

第2・第4 水曜日 10時～12時 または 午後1時半～3時半

月謝： 3000円

入会金：3000円 (いつでも見学できます)

場所 めぐみバプテスト教会

お申込み、お問い合わせ先

JPHAA公認準インストラクター 上嶋(かみじま)ひとみ

：080-6671-7687

メール：awaken1103@yahoo.co.jp

(*ホームページに、パステルアート作品が掲載されています)

めぐみバプテスト教会 9月のご案内

9/14(日) シニアサンデー 礼拝10:45～ (60歳以上のシニアの方々、どうぞお越しください。)

お昼を御用意して、お待ちしております。すべて無料です)

めぐみバプテスト教会は、あなたのお役に立ちたいと願っています。聖書は人生のすべての悩み、苦しみに解答を与えています。どなたでも、お越しいただけます。ご来会、ご連絡、心より御お待ちしております(牧師、湯浅修)

聖書通信講座のご案内

どなたでも無料で学ぶことのできる聖書

通信講座があります。講座は幼児用

から大人までのコースです。ご希望の

方は、どうぞ、お気軽に当教会まで

御連絡下さい。早速、スタートできます。

Tel. 042-372-5693

メール：qrdep763@ybb.ne.jp

(疑問・ご質問何でも、お問い合わせ下さい)

あとがきにかえて

「めぐみの糧」第8号をお読み下り、ありがとうございます。
今号は、「ザアカイ」という聖書人物を取り上げました。ザアカイと言う名前は「正しい」という意味です。人は誰でも、正しく生きたい、ありたいと願いますが、私たちの内に宿る罪、弱さに悩まされ、苦しんでいます。しかし、キリストの十字架の血潮は、あなたの罪を取り除き、清め、罪に勝利する力を与えてくださるのです。今、キリストの血潮に信頼致しましょう。

「たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。たとい、紅のように赤くても、羊の毛のようになる」

(イザヤ書一章十八節)

